

# 平成17年度 水質汚濁物質排出量総合調査票

(平成16年4月1日 ~ 平成17年3月31日実績)

提出期限 平成17年10月31日

- 提出は原票でお願いいたします。
- 太枠内に記入してください。

送付先

本調査票の内容は、統計以外の目的に使用しません。

## 1 工場 事業場の概要

工場 事業場名																
所在地																
記載担当者	所属氏名															
産業分類 (産業分類が正しくない場合、内に×を記入してください)																
----- 上記以外の産業分類に該当する場合、下欄にその内容を記入してください。 -----																
稼働コード	1 稼働(今回の調査対象になります) 2 :下水道全量接続 3 建設中 4 休止 5 廃止 9 :その他	事由	年(西暦)	月												
<b>が「1 稼働」以外の場合、以下記入する必要はありません。</b>																
規模の指標	延床面積	従業員数等	出荷額等													
	~ 飼育頭数	単位 頭	豚	牛	馬											
	特定施設が1の2以外は記入不要															
稼働状況	その他の指標															
	月別稼働日数	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間		
	稼働時刻	始時	時	分	終時	時	分									

## 2 用排水量及び排水処理方法

用水量 (m³/日)	<input type="text"/>	排水処理方法	<input type="checkbox"/>
総排水量 (m³/日)	<input type="text"/>		<input type="checkbox"/>
処理水量 (m³/日)	<input type="text"/>		
未処理水量 (m³/日)	<input type="text"/>		

## 3 排水濃度等 (公共用水域への排出を対象とします)

項番	項目名	21 .排水濃度等																																																																																																																																																																																																																													
01	水素イオン濃度 (pH)	下限値												02		上限値												03	BOD (mg/l)													04	COD (mg/l)													05	SS (mg/l)													06	カルマレキサン	鉱油類												07	抽出物質 (mg/l)	動植物油脂類												08	フェノール類 (mg/l)													09	銅 (mg/l)													10	亜鉛 (mg/l)													11	溶解性鉄 (mg/l)													12	溶解性マンガン (mg/l)													13	クロム (mg/l)													14	大腸菌群数 (×1000個/ml)													15	総窒素 (mg/l)													16	総磷 (mg/l)												
02		上限値												03	BOD (mg/l)													04	COD (mg/l)													05	SS (mg/l)													06	カルマレキサン	鉱油類												07	抽出物質 (mg/l)	動植物油脂類												08	フェノール類 (mg/l)													09	銅 (mg/l)													10	亜鉛 (mg/l)													11	溶解性鉄 (mg/l)													12	溶解性マンガン (mg/l)													13	クロム (mg/l)													14	大腸菌群数 (×1000個/ml)													15	総窒素 (mg/l)													16	総磷 (mg/l)																										
03	BOD (mg/l)													04	COD (mg/l)													05	SS (mg/l)													06	カルマレキサン	鉱油類												07	抽出物質 (mg/l)	動植物油脂類												08	フェノール類 (mg/l)													09	銅 (mg/l)													10	亜鉛 (mg/l)													11	溶解性鉄 (mg/l)													12	溶解性マンガン (mg/l)													13	クロム (mg/l)													14	大腸菌群数 (×1000個/ml)													15	総窒素 (mg/l)													16	総磷 (mg/l)																																								
04	COD (mg/l)													05	SS (mg/l)													06	カルマレキサン	鉱油類												07	抽出物質 (mg/l)	動植物油脂類												08	フェノール類 (mg/l)													09	銅 (mg/l)													10	亜鉛 (mg/l)													11	溶解性鉄 (mg/l)													12	溶解性マンガン (mg/l)													13	クロム (mg/l)													14	大腸菌群数 (×1000個/ml)													15	総窒素 (mg/l)													16	総磷 (mg/l)																																																						
05	SS (mg/l)													06	カルマレキサン	鉱油類												07	抽出物質 (mg/l)	動植物油脂類												08	フェノール類 (mg/l)													09	銅 (mg/l)													10	亜鉛 (mg/l)													11	溶解性鉄 (mg/l)													12	溶解性マンガン (mg/l)													13	クロム (mg/l)													14	大腸菌群数 (×1000個/ml)													15	総窒素 (mg/l)													16	総磷 (mg/l)																																																																				
06	カルマレキサン	鉱油類												07	抽出物質 (mg/l)	動植物油脂類												08	フェノール類 (mg/l)													09	銅 (mg/l)													10	亜鉛 (mg/l)													11	溶解性鉄 (mg/l)													12	溶解性マンガン (mg/l)													13	クロム (mg/l)													14	大腸菌群数 (×1000個/ml)													15	総窒素 (mg/l)													16	総磷 (mg/l)																																																																																		
07	抽出物質 (mg/l)	動植物油脂類												08	フェノール類 (mg/l)													09	銅 (mg/l)													10	亜鉛 (mg/l)													11	溶解性鉄 (mg/l)													12	溶解性マンガン (mg/l)													13	クロム (mg/l)													14	大腸菌群数 (×1000個/ml)													15	総窒素 (mg/l)													16	総磷 (mg/l)																																																																																																
08	フェノール類 (mg/l)													09	銅 (mg/l)													10	亜鉛 (mg/l)													11	溶解性鉄 (mg/l)													12	溶解性マンガン (mg/l)													13	クロム (mg/l)													14	大腸菌群数 (×1000個/ml)													15	総窒素 (mg/l)													16	総磷 (mg/l)																																																																																																														
09	銅 (mg/l)													10	亜鉛 (mg/l)													11	溶解性鉄 (mg/l)													12	溶解性マンガン (mg/l)													13	クロム (mg/l)													14	大腸菌群数 (×1000個/ml)													15	総窒素 (mg/l)													16	総磷 (mg/l)																																																																																																																												
10	亜鉛 (mg/l)													11	溶解性鉄 (mg/l)													12	溶解性マンガン (mg/l)													13	クロム (mg/l)													14	大腸菌群数 (×1000個/ml)													15	総窒素 (mg/l)													16	総磷 (mg/l)																																																																																																																																										
11	溶解性鉄 (mg/l)													12	溶解性マンガン (mg/l)													13	クロム (mg/l)													14	大腸菌群数 (×1000個/ml)													15	総窒素 (mg/l)													16	総磷 (mg/l)																																																																																																																																																								
12	溶解性マンガン (mg/l)													13	クロム (mg/l)													14	大腸菌群数 (×1000個/ml)													15	総窒素 (mg/l)													16	総磷 (mg/l)																																																																																																																																																																						
13	クロム (mg/l)													14	大腸菌群数 (×1000個/ml)													15	総窒素 (mg/l)													16	総磷 (mg/l)																																																																																																																																																																																				
14	大腸菌群数 (×1000個/ml)													15	総窒素 (mg/l)													16	総磷 (mg/l)																																																																																																																																																																																																		
15	総窒素 (mg/l)													16	総磷 (mg/l)																																																																																																																																																																																																																
16	総磷 (mg/l)																																																																																																																																																																																																																														

?

総務省承認No. 26232
承認期限 平成17年11月30日まで
環境省環境管理局水環境部水環境管理課
経済産業省産業技術環境局環境政策課環境指導室

点線内は記入の必要がありません。

環境省統一番号	排水量区分	有害区分	代表産業分類
水域番号	代表特定施設コード	補助区分	

## 4 有害物質使用 製造の有無、排水濃度等

項番	有害物質の種類	22使用		23製造		24排出方法				25 .排水濃度(mg/l)				
		有	無	有	無	1	2	3	4					
01	カドミウム及びその化合物													
02	シアン化合物													
03	有機燐化合物 ( )													
04	鉛及びその化合物													
05	六価クロム化合物													
06	砒素及びその化合物													
07	総水銀													
08	アルキル水銀化合物													
09	PCB													
10	トリクロロエチレン ( )													
11	テトラクロロエチレン ( )													
12	ジクロロメタン ( )													
13	四塩化炭素 ( )													
14	1,2-ジクロロエタン ( )													
15	1,1-ジクロロエチレン ( )													
16	シス-1,2-ジクロロエチレン ( )													
17	1,1,1-トリクロロエタン ( )													
18	1,1,2-トリクロロエタン ( )													
19	1,3-ジクロロプロペン													
20	チウラム ( )													
21	シマジン ( )													
22	チオベンカルブ ( )													
23	ベンゼン													
24	セレン及びその化合物 ( )													
25	ほう素及びその化合物													
26	ふっ素及びその化合物													
27	フタル酸、フタル酸化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物													

( ) 他に呼び名がある場合がありますので、記入要領で御確認ください。

御協力ありがとうございました。

# 水質汚濁物質排出量総合調査について

## はじめに

この調査は、水質汚濁防止法に定める特定施設を有する工場又は事業場における、水質汚濁物質の排出実態を把握することにより、水質汚濁防止法の施行上の基礎資料を得ることを目的としたもので、環境省及び経済産業省が実施するものです。次頁以降に示す記入要領に従って調査票に御記入の上、下記期限までに御回答くださるようお願いいたします。

なお、御回答いただいた個別の調査票の内容は秘密扱いとし、外部に公表することはありません。しかしながら、報告されたデータをもとに特定施設分類別や産業分類別にデータを集計し、その集計結果を調査結果概要として公表いたしますので、報告される内容は正確をお願いいたします。この公表資料から個々の事業場の特定は不可能ですので、御理解の上、御協力をお願いいたします。

また、今回の調査により、報告されたデータを根拠として、法に基づいた罰則等は適用されませんので、各事業場の正確なデータを御記入くださいますようお願いいたします。

## 記

### 調査票提出期限

平成17年10月31日(月)まで

### 調査対象期間

調査の対象となる期間は、平成16年度(平成16年4月1日から平成17年3月31日までの1年間)です。

### 調査対象事業場

本調査では、水質汚濁防止法に定める特定施設を有する工場又は事業場(特定事業場)のうち、排水量50m<sup>3</sup>/日以上の特定制業場、有害物質使用特定制業場を対象としています。

### 本件の問合せ先

本件に関する問い合わせ等の一切は、下記 中外テクノス株式会社が一括して対応させていただきます。なお、本調査は、環境省環境管理局水環境部水環境管理課(課長補佐:村山/担当:井橋)の請負調査として実施しています。

会社名: 中外テクノス株式会社

住所: 〒267-0056 千葉県千葉市緑区大野台2丁目2-16

電話番号: 043-205-5250 (受付: 月曜日~金曜日 9:30-12:00, 13:00-17:00)

F A X: 043-295-1109

担当者: 岩倉(イワクラ)、高橋(タカシ)

## 【 調査票の記入要領 】

太枠で囲まれた欄のみ記入してください。

数字は1文字につき1マスを用いて、小数点があれば小数点も1つのマス目を使用してください。  
調査票の中で、網掛け欄に記載されているデータは、前回調査（調査対象は平成15年度）において御記入いただいたものであり、今回の参考にしてください。なお、空欄となっている場合は、前回調査の報告を頂いていない事業場です。今年度調査につきましては、必ず御回答いただけるようお願いいたします。

調査票の集計時には文字認識ソフトを用いて数字を読み取りますので、記入の際には、丁寧な自筆をお願いいたします。

以下、記入に当たっての細部説明を各項目ごとに述べますので、十分御理解の上、記入してください。

### 1 工場・事業場の概要

- 工場・事業場名 記載内容を御確認ください。
- 所在地 記載内容を御確認ください。
- 記載担当者 記載内容について問い合わせる場合のためのものです。記載担当者の所属・氏名、連絡先電話番号をはっきりと御記入ください。
- 産業分類 前年度調査の結果等をもとに各事業場5つまで印字されていますが、該当しないものがあれば、それぞれ左の欄に×を記入してください。  
また、主に行われている事業で記載されていないものがあれば、その内容を一番下の括弧内に記入するとともに、産業分類番号が分かる場合は、左の4桁の欄に産業分類番号を記入してください。その場合、産業分類は主なものを5つまでデータ化しますので、既に産業分類が5つ記載されている場合は、削除してよい産業分類の欄に×を記入してください。
- 稼働コード 平成17年3月31日現在における事業場の稼働状況について、下記の稼働コードから選択し、番号を記入してください。  
なお、分流式下水道に全量排水する事業場は、「2」となります。

稼働状況	稼働コード
稼働（今回の調査対象になります）	1
下水道に全量接続	2
H17.3.31 現在建設中で稼働していない	3
休止（稼働を再開する見込みはあるが停止中）	4
廃止（稼働を再開する見込みはない）	5
その他（誤って郵送されてきた など）	9

- 事由発生日 「稼働コード」において、「1（稼働）」を選択された場合は、記入する必要はありません。それ以外の場合は、その事由が発生した年月を御記入ください。なお、「3（建設中）」を選択された場合は、稼働予定年月を記入してください。時期がはっきりしない場合は、おおよその時期で結構ですが、届出等の提出日を参考とするようにしてください。

以下は、「稼働コード」において「1(稼働)」を選択された場合のみ、御記入ください。  
「1(稼働)」以外を選択された場合は、以下は記入する必要はありません。

～ 規模の指標

すべて平成17年3月31日現在の状況で記入してください。

なお、～については、把握可能な範囲での報告で構いません。

延床面積

工場又は事業場の建築物の総床面積を記入してください。なお、住宅団地等の場合は、関係している住宅の延床面積の合計を記入してください。

従業員数等

従業員数を記入してください。なお、水道施設の場合は給水人口、集合型生活排水処理施設(下水道終末処理施設、集落排水施設、コミュニティプラント、浄化槽など)の場合は処理対象区域の利用人口、学校の場合は職員数と生徒数の合計となります。

出荷額等

平成16年度(平成16年4月1日から平成17年3月31日までの1年間)における工場又は事業場の出荷額(出荷額がない場合は、収入額、年間予算額、年間取扱額等)を1万円単位で御記入ください。なお、住宅団地の場合は記入不要です。

～ 飼育頭数

畜舎(豚・牛・馬)のある事業場のみ記入してください。平成16年度(平成16年4月1日から平成17年3月31日までの1年間)における通常の家畜の飼育頭数を頭単位で記入してください。

その他の指標

記入の必要のある工場又は事業場については、記入していただく指標とその単位がすでに印字されています。印字がない場合は、記入の必要はありません。

なお、し尿処理場の場合においては、指標が「浄化槽の処理対象人槽の合計」、単位が「人槽」と誤って印字されていることがあります。その場合は、印字を抹消した上で、指標を「受入し尿量」、単位を「kl/日」に修正してください。

～ 稼働状況

工場又は事業場全体の稼働状況を把握するものです。複数設備を有する工場又は事業場においては、いずれかひとつでも施設が稼働していれば稼働日数、稼働時刻に計上してください。

月別稼働日数

平成16年4月から平成17年3月までの各月における施設の稼働日数と年間の合計値を御記入ください。

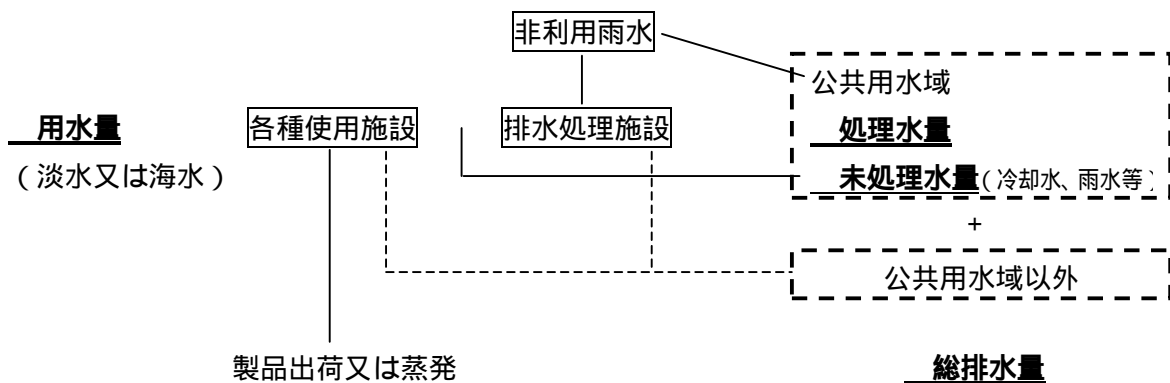
稼働時刻

平均的な日における工場又は事業場の稼働時刻を、0時(午前零時)から24時(午後12時)で御記入ください。なお、終日稼働している場合は、始時を0:00、終時を24:00としてください。

## 2 用排水量及び排水処理方法

ここでは、一日当たりの用排水量 について、 用水量、 総排水量、 処理水量及び 未処理水量（いずれも単位は  $m^3/日$ ）に分けて記入してください。ただし、 処理水量及び 未処理水量については、河川など公共用水域への排出分のみを記入してください。

平成16年4月1日から平成17年3月31日までの1年間に、事業所で使用、排出した用排水量を操業日数で除したもの



注1) 公共用水域とは、河川、湖沼、港湾、沿岸海域その他公共の用に供される水域及びこれに接する水路等で下水道以外のものをいいます。

注2) 水道施設(64の2(水質汚濁防止法施行令別表第一の特定施設番号。括弧内の数字において以下同じ。))において、用水量には浄水される水量も含まれます。

注3) し尿処理施設(72)、下水道終末処理施設(73)において、用水量には処理対象となる受入し尿や下水の量は含まませんが、希釈水等として使用する水は含むこととします。一方、～は、事業場から排出されるすべての水を対象とします。

注4) 廃油処理施設(70)、産業廃棄物処理施設(71の4)、し尿浄化槽(72)、共同処理施設(74)のみが設置されている事業場においては、注3)に準じて、処理対象として受け入れる廃油、廃酸・廃アルカリ、し尿等又は特定事業場から排出される水は 用水量には含まませんが、希釈水等として使用する水は含むこととします。一方、～は、事業場から排出されるすべての水を対象とします。

### 排水処理方法

排水処理をして各排水口から排出を行う場合、その主な排水処理方法を下記の処理コードから選択し、番号を記入してください。

排水処理方法の種類	処理コード
活性汚泥	0 1
その他の生物処理	0 2
凝集沈澱、凝集浮上、加圧浮上	0 3
砂ろ過	0 4
オゾン処理	0 5
活性炭	0 6
油水分離	0 7
その他の高度処理	0 8
沈澱、中和、無機物の除去を主たる目的とした処理等 (上記のいずれにも該当しない場合のみ)	0 9

### 3 排水濃度等

ここでは、工場又は事業場の排水口からの排水について記入していただきます。ここで、排水口とは、工場又は事業場から河川や海域等の公共用水域へ排出されるもの全てを指します。したがって、非利用雨水排水など事業に直接関係のないものも含まれますが、この非利用雨水排水などについて、排水濃度等の測定をされていない場合は、これを除いて排水濃度を算出してください。

#### 21排水濃度等

各項目における平均的な排水濃度(1年間の平均値など)を記入してください。ただし、定量限界以下の場合は、記入欄に「ND」と記入してください。事業場内において、公共用水域に排出する排水口が複数ある場合、平均的な排水濃度とは、工場又は事業場内にあるそれぞれの排水口からの排水量と排水濃度とから次のように平均値を算出し、その値を記入してください。なお、網掛け欄に記載されているデータは、前回調査において御記入いただいたものであり、参考としてください。

#### <平均的な排水濃度の算出方法>

排水口1 (排水量 $Q_1$  排水濃度 $C_1$ )  
排水口2 (排水量 $Q_2$  排水濃度 $C_2$ )  
排水口3 (排水量 $Q_3$  排水濃度 $C_3$ )  
:  
:  
:  
排水口N (排水量 $Q_N$  排水濃度 $C_N$ ) の場合、

平均的な排水濃度 $C$ は、

$$C = \frac{Q_1 \times C_1 + Q_2 \times C_2 + Q_3 \times C_3 + \dots + Q_N \times C_N}{Q_1 + Q_2 + Q_3 + \dots + Q_N}$$

ただし、排水濃度が定量限界以下(ND)の場合は、排水濃度は0として計算してください。

注1) 水素イオン濃度(pH)については、1から14の範囲内で数値を記入してください。

(この範囲を超える数値は存在しないためです。)

注2) 大腸菌群数の単位は、「×1000個/ml」であるため、記入の際には十分御注意ください。

(例: 500個/mlの場合 0.5と記入してください。)

#### 4 有害物質使用・製造の有無、排水濃度等

ここでは、工場又は事業場全体について記入していただきます。なお、調査票に記載されている有害物質名については、別の呼び方が用いられていることがあります。下表に代表的な例を示しましたが、該当する物質がないか十分御確認いただきますようお願いいたします。

項番	項目名	別名の例
03	有機燐化合物	パ <sup>o</sup> チオ、メ <sup>o</sup> ル <sup>o</sup> チオ、メ <sup>o</sup> ル <sup>o</sup> ジ <sup>o</sup> チオ、EPN
10	トリクロエレン	トリレン、三塩化エレン、三塩化エテン、イソトリクロライド <sup>o</sup>
11	テトラクロエレン	パ <sup>o</sup> -レン、四塩化エレン、パ <sup>o</sup> -クロエレン
12	ジクロメタン	塩化メレン、ジ <sup>o</sup> クロメタン、メレンクロライド <sup>o</sup> 、二塩化メレン、メレンジ <sup>o</sup> クロライド <sup>o</sup>
13	四塩化炭素	四塩炭、四クロメタン、ベンジ <sup>o</sup> ホルム
14	1,2-ジクロエタン	二塩化エタン、二塩化エレン、エレンジ <sup>o</sup> クロライド <sup>o</sup>
15	1,1-ジクロエレン	クロエレン、1,1-ジクロエテン、塩化ビ <sup>o</sup> リデン、ビ <sup>o</sup> リデンクロライド <sup>o</sup>
16	シス-1,2-ジクロエテン	シス-1,2-ジクロエテン
17	1,1,1-トリクロエタン	メ <sup>o</sup> ル <sup>o</sup> クロホルム
18	1,1,2-トリクロエタン	-トリクロエタン
20	チラム	テトラメ <sup>o</sup> ル <sup>o</sup> チラミジ <sup>o</sup> スルフィド、グリーンチオック、チオック、チラミン、ホ <sup>o</sup> マ <sup>o</sup> ジ <sup>o</sup> ールフ
21	シマジン	2-クロ-4,6-ビス(イソ <sup>o</sup> アミノ)-s-トリアジン
22	チオ <sup>o</sup> ソルブ	S-4-クロ <sup>o</sup> ベンジ <sup>o</sup> ル=N,N-ジ <sup>o</sup> エ <sup>o</sup> ル <sup>o</sup> チオカルバ <sup>o</sup> マ <sup>o</sup> ト
24	セソ	セソム

22 使用の有無、23 製造の有無、24 排出方法について、前回調査において御回答いただいた項目には、あらかじめ回答欄に がついています。当該箇所を訂正する場合は、 を一のように抹消したうえで、該当する番号に をつけてください。

#### 22使用の有無

当該物質を使用している場合は、使用量の多少にかかわらず、「1」を で囲んでください。使用していない場合は、「2」を で囲んでください。また、当該物質を原料とする製品を使用している場合も使用しているものとみなします。

#### 23製造の有無

当該物質を製造している場合は、製造量の多少にかかわらず、「1」を で囲んでください。製造していない場合は、「2」を で囲んでください。また、当該物質を含む製品を製造している場合も製造しているものとみなします。

#### 24排出方法

それぞれの有害物質を含むおそれのある汚水等がどのように排出されているかについて、下表の中から該当するコードを選択し、番号を で囲んでください。

なお、「22 使用の有無」及び「23 製造の有無」において、いずれも「無」の項目については空欄としてください。

排出方法	排出コード
(処理後に)公共用水域へ排出	1
廃棄物処理業者による回収等	2
下水道へ排出	3
その他	4

#### 25排水濃度

工場又は事業場からの排水水について、排水濃度を分析している項目があれば、その項目について排水濃度を記入してください。ただし、**定量限界以下の場合、記入欄へは「ND」と記載し、排水濃度データが複数ある場合は、平成16年度(平成16年4月1日から平成17年3月31日までの1年間)において最大のものを記入してください。**なお、網掛け欄に記載されているデータは、前回調査において御記入いただいたものであり、参考としてください。排水濃度を分析していない項目については、空欄のままで結構です。

その他、御不明な点等ございましたら、問合せ先にお問い合わせいたします。

御協力ありがとうございました。